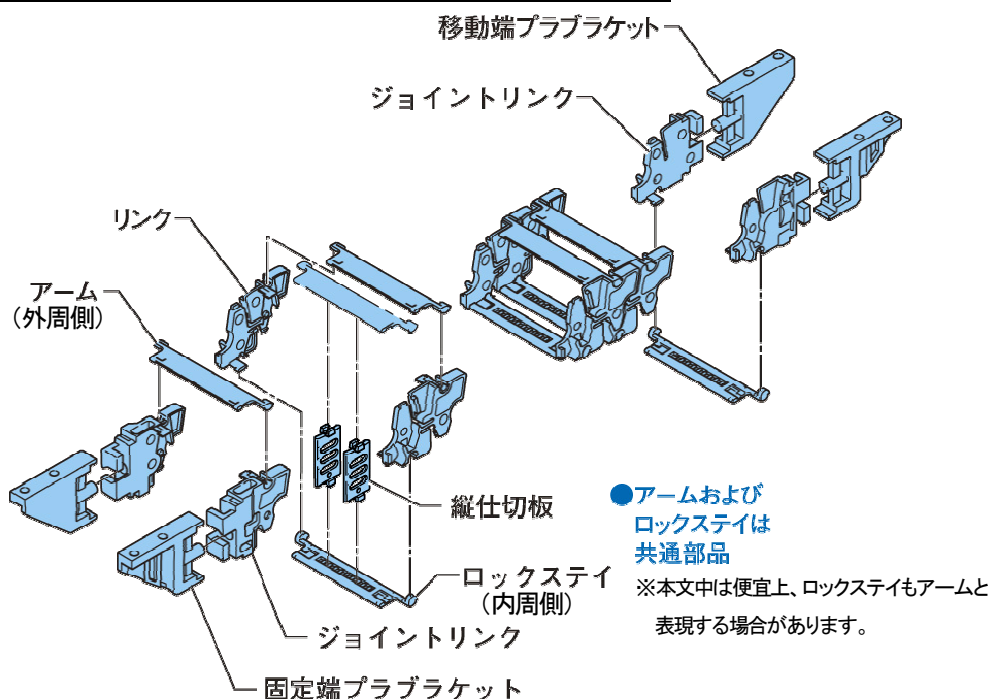


つばき プラケールベヤ® TKR形 TKR0200

取扱説明書

(株) 椿本チエイン

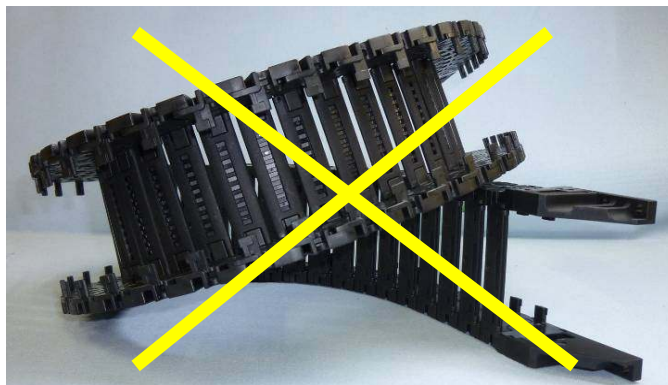
1 構造・名称



注意！！

ケーブルベヤをねじらないでください。

- ①ケーブルベヤを梱包箱から取出すとき
- ②ケーブル・ホースを装着するとき
- ③装置へケーブルベヤを据付けるとき
- ④アームを組込むとき



など、ケーブルベヤを取扱うときにケーブルベヤをねじらないでください。
ケーブルベヤをねじると、アーム・ロックスティの外れ（浮き、脱落）が発生するおそれがあります。

***もし、ねじってしまった場合は、アーム・ロックスティが正しく取付ているか確認してください。**

※正しく取付いていない場合は、2頁のアームの取付け方を参照ください。

2 仕切板の取付け

仕切板は、ケーブル・ホース挿入時に取付けます。
アーム（外周側）またはロックスティ（内周側）だけを取付けた状態で、縦仕切板の識別穴側の突起をアームまたはロックスティに取付けてください。

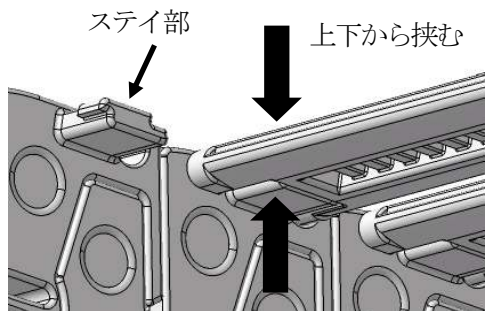
注) 仕切板は、2リンク毎に取付けるので、1ヵ所に入る数量を確認してください。



3 アーム・ロックステイの取付け

「つばき プラケーブルベヤ TKR0200」はケーブル・ホース挿入の作業性を考慮して、アーム（外周側）を取り外した状態で納入しています。以下の手順にしたがってアームを取付けてください。

<取付け方法>

1) アームの軸をリンクに差込みます。	2) アームの両端から 20mm 付近を両手で押込んで取付けます。	3) リンクのステイ部とアームを指で挟み、はめ込みます。
		

注 1) アームが確実にリンクのステイ部に、はまっているか必ず確認してください。

正しく取付いていないと稼働中にアームが脱落する場合があります。

注 2) 特に、縦仕切り板を使用する場合は、アームが確実にリンクのステイ部にはまっているか必ず確認してください。

***アームが正しく取付けられていない時は写真①のように端部が浮いた状態になりますので、ご使用前に必ず点検ください。**

***アームが浮いている場合、写真②のようにリンクのステイ部とアームの連結部をアーム取付け治具で、アームの左右両端を確実ににはめ込んでください。**



注) テコの原理ではめ込みます。



アーム取付け治具（付属）

4 アーム・ロックステイの取外し

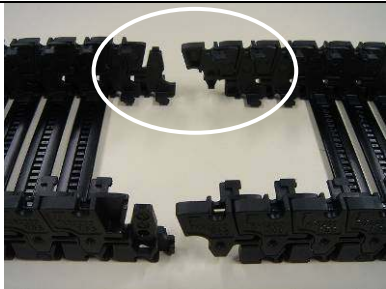
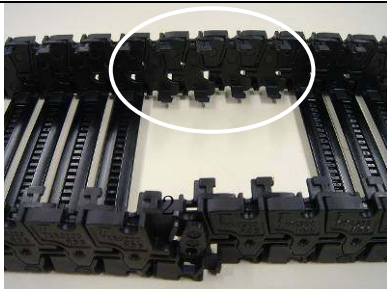
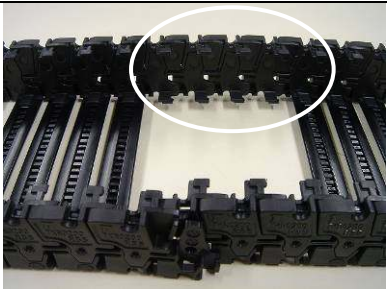
以下の手順にしたがって、アームを取外してください。

1) アームをつかみます。	2) アームを軸が中心で回転させるように外します。	3) アームを抜き取ります。
		

5

ケーブルベヤの連結

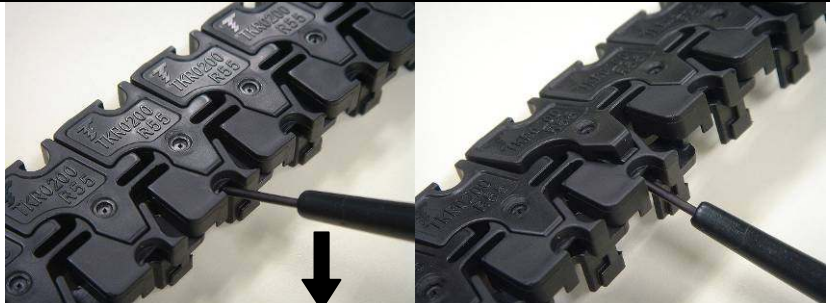
長尺編成 (100 リンク以上) の場合は原則として分割して納入します。以下の手順にしたがって、連結してご使用ください。

1) 両端各 2 リンク分のアームを外し、方向をそろえます。	2) リンクの上側の凸部を隣りのリンクの凹部にはめ込みます。	3) リンクの下側をはめ込みます。
		
↓ ○部拡大図	↓ ○部拡大図	↓ ○部拡大図
		
4) 反対側のリンクも同様に連結してください。		

6

リンクの分割

以下の手順にしたがって、必要な長さに分割してご使用ください。なお、分割の際は、アームを取外してください。

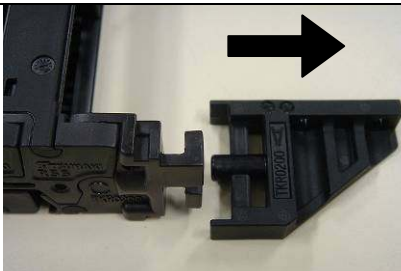
1) リンクの下面 (内周側) の穴にマイナスドライバーを差し込みます。	2) マイナスドライバーを矢印の方向にこじるとリンクが外れます。
	

注) 先端の大きさが幅 3.5mm 以下のドライバーを使用してください。

7

ブラケットの取外し・取付け

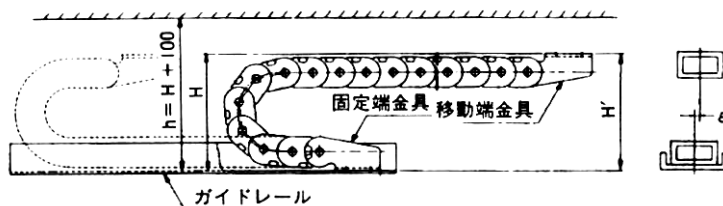
以下の手順にしたがって、ブラケットを取外してください。また、ブラケットの取付けは取外しと逆の手順となります。

1) ブラケットの取付け面側を内周側にねじります。	2) 90° 回転させます。	3) 引抜いてください。
		

注1) ブラケット取付け後、ブラケットの刻印の入った方が外側になっていることを確認してください。

注2) ブラケットの外周向き取付け (PIA、PKA) と内周向き取付け (PIAU、PKAU) とは同一部品のブラケットの入替えて変更できます。(部品共用可)

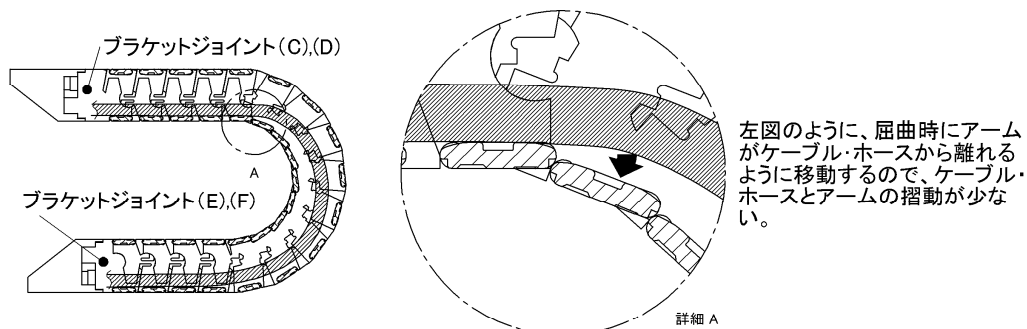
ケーブルベヤには、ご使用によってはフリースパン部にふくらみやたわみがあらわれますが、当社能力線図内で選定されている場合では、使用上問題ありません。



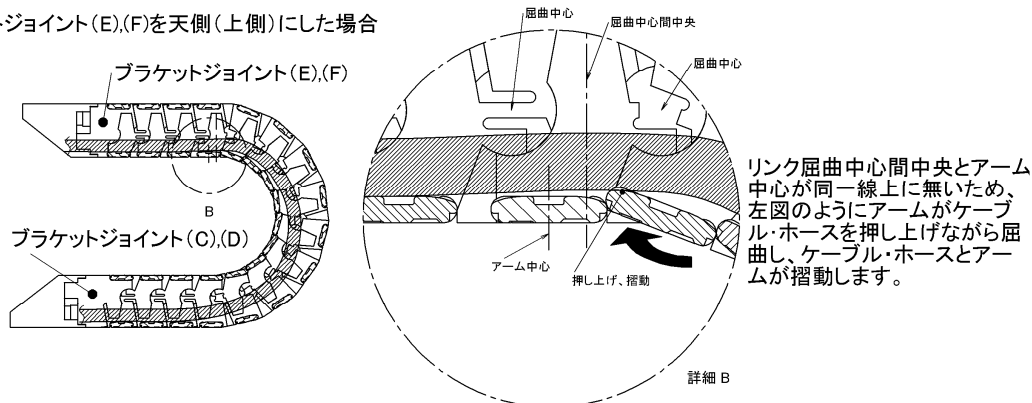
1. 機械装置の移動端取付高さ (H') は、ケーブルベヤの高さ H + (10~30) としてください。
2. ケーブルベヤの空間高さ (h) は、H + 100 としてください。
3. ガイドレールを取付けてください。
4. 移動端ブラケットと固定端ブラケットの取付面誤差 (ε) は、4mm 以下にしてください。
5. ケーブル・ホースは屈曲性、耐摩耗性に優れた移動用のものを使用してください。
6. ワイヤブレード外装のものは、いたみやすいことがあるので、使用を避けてください。
7. ケーブル・ホースは積重ねて使用すると摩耗が生じやすいので、横に並べるか、横仕切板を使用してください。
8. ケーブル・ホースは長さに余裕をもってセットし、両端部でクランプしてください。
9. ガイドレール内に異物があると、破損の原因になりますので取除いてください。
10. 次の部品は部品送りいたしますので取付時に組み込み願います。
 - ・ 外周側アーム
 - ・ 仕切板

- ◎ ケーブル・ホース保護性に関係しますので、ジョイントリンクにCまたはDと刻印がある側を天側（上側）にしてご使用ください。

○ブラケットジョイント(C),(D)を天側(上側)にした場合(推奨)



○ブラケットジョイント(E),(F)を天側(上側)にした場合



- ◎ プラブラケットの取付面に凹凸があると、ブラケットが破損する場合がありますので、なるべく滑らかな平面に取付け願います。また、プラブラケットの取付ボルトを締めすぎると破損する場合がありますので下記推奨締付トルクにて締付け願います。

ボルトサイズ	推奨締付トルク
M4	0.6 N・m